

演技 試験 問題 (女子一)

次の課題の詩(1)を解釈し、自分なりに、その詩を語る主人公を設定して演じなさい。
続いて、主人公の心境に一番あった歌(2)を、即興で振り付け歌いなさい。

(1) 主人公 ばさばさに乾いてゆく心を

ひとのせいにはするな

みずから水やりを怠っておいて

気難かしくなってきたのを

友人のせいにはするな

しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つのを

近親のせいにはするな

なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを

暮しのせいにはするな

そもそもが ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を

時代のせいにはするな

わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい

自分で守れ

ばかものよ

(2) 設定した主人公の、心境に一番あった歌を、即興で振り付け歌う。(歌は即興の曲でも既成の曲でも可とする)

「自分の感受性くらい」 茨木のり子

『ポケット詩集』 田中和雄「編」より